



No. 3

近畿地方整備局  
事業評価監視委員会  
令和6年度第2回

一般国道24号

て ら だ か く ふ く

寺 田 拡 幅

【再評価】

令和6年11月  
近畿地方整備局

# 目次

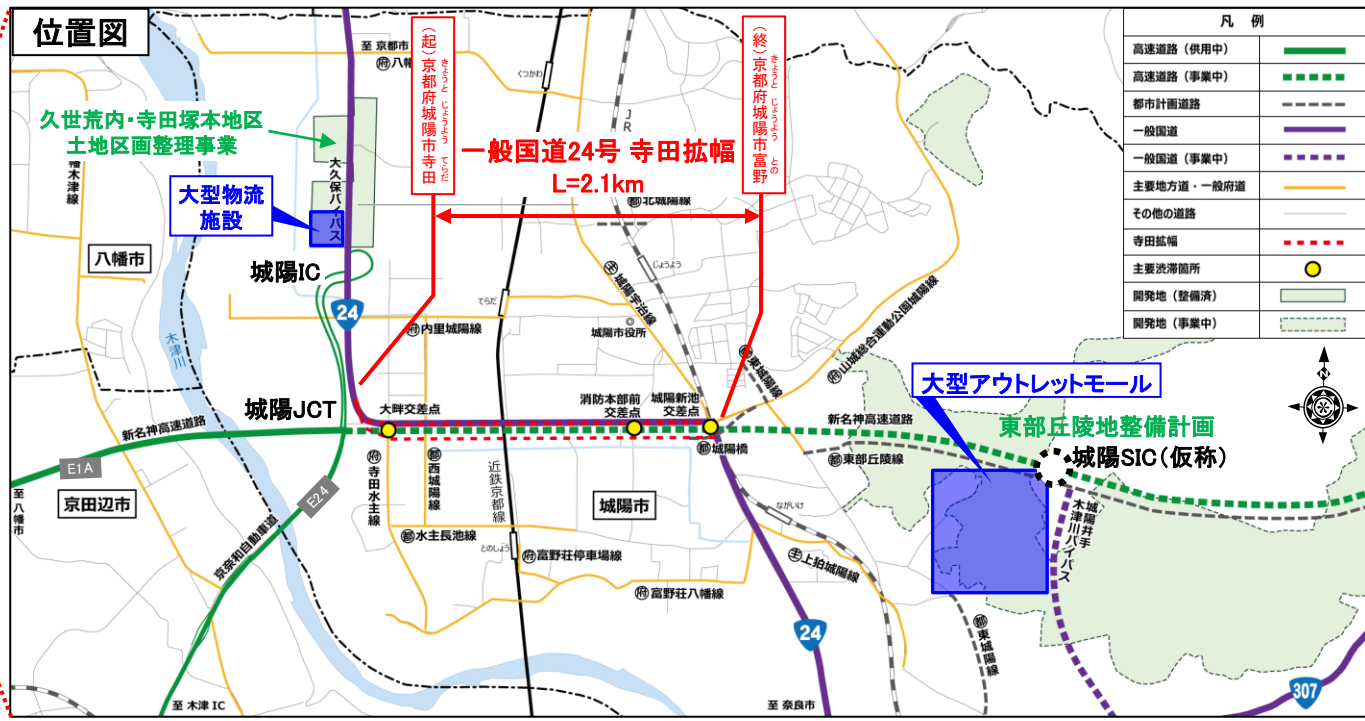
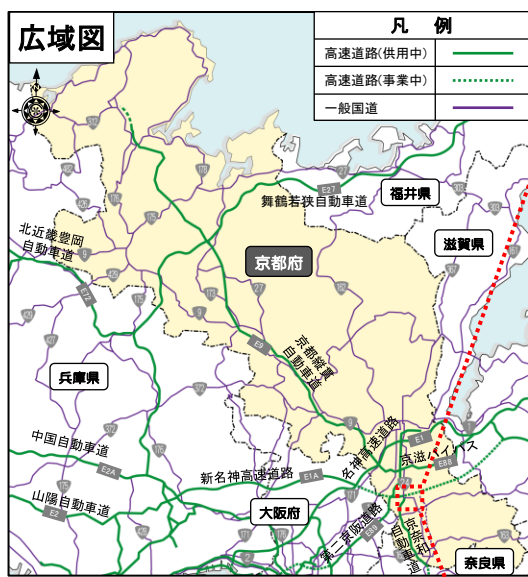
1. 事業全体図
2. 事業の概要
3. 事業費の見直し
4. 事業の必要性等に関する視点
  - 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化
  - 2) 事業の整備効果
  - 3) 事業の投資効果
  - 4) 地域における計画等
5. 事業進捗の見込みの視点
6. コスト縮減や代替案等の可能性の視点
7. 関係自治体の意見
8. 対応方針(原案)

# 1. 事業全体図

## 一般国道24号 寺田拡幅

一般国道24号は、京都市下京区を起点に京都府を南北に縦断し、和歌山県和歌山市に至る延長約140kmの主要幹線道路である。

寺田拡幅は、城陽市内における一般国道24号の交通渋滞の緩和、交通事故の減少を目的としており、新名神高速道路と一体的に整備することで周辺開発の支援に寄与する全長2.1kmの道路である。



# 2. 事業の概要

## 一般国道24号 寺田拡幅

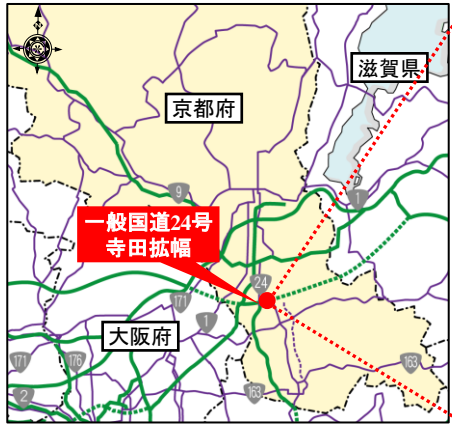
### 事業の目的

- 交通渋滞の緩和
- 交通安全の確保
- 周辺開発の支援

### 事業の概要・進捗状況

区間	じょうようしてらだ (起) 京都府城陽市寺田地先 じょうようしとの (終) 京都府城陽市富野地先
道路延長	2.1km
構造規格	第4種1級
設計速度	60km/h
車線数	4車線
標準幅員	24.0m
計画交通量	約22,300台/日
全体事業費	約195億円
事業化	平成25年度
都市計画決定	平成3年5月
用地着手	平成27年度
工事着手	平成28年度
開通延長	—
事業進捗率	約79%(令和6年3月末時点)※
用地取得率	約100%(面積ベース、同上)

広域図



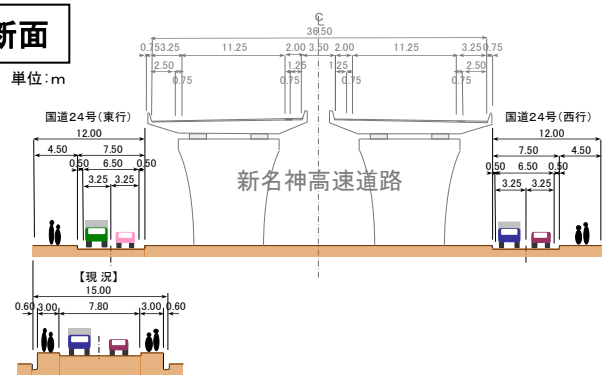
位置図



写真



標準断面



※R6再評価後の事業費に対する進捗率(令和6年3月末進捗状況から算出)

## ■全体事業費の見直し

物価上昇による資機材費及び労務費の増加や擁壁部の地盤改良工の変更等により、約27.4億円の増額が生じたため、コスト縮減を図ったものの、事業費全体で約27億円の増額が発生。(168億円⇒195億円(約16%増))

## ■事業費増加の要因

- 物価上昇による資機材費及び労務費の増(①)
- 擁壁部の地盤改良工の変更による増(②)
- 地下道の施工に伴う土留仮締切の追加による増(③)

## ■コスト縮減の取組

- 橋梁部の計画変更によるコスト縮減(④)

### ▼事業費増加の内訳

(単位:億円)

No.	主な増加理由	金額
①	物価上昇による資機材費及び労務費の増	+21.0
②	擁壁部の地盤改良工の変更による増	+ 3.4
③	地下道の施工に伴う土留仮締切の追加による増	+ 3.0
④	橋梁部の計画変更によるコスト縮減	- 0.4
	合計	27.0

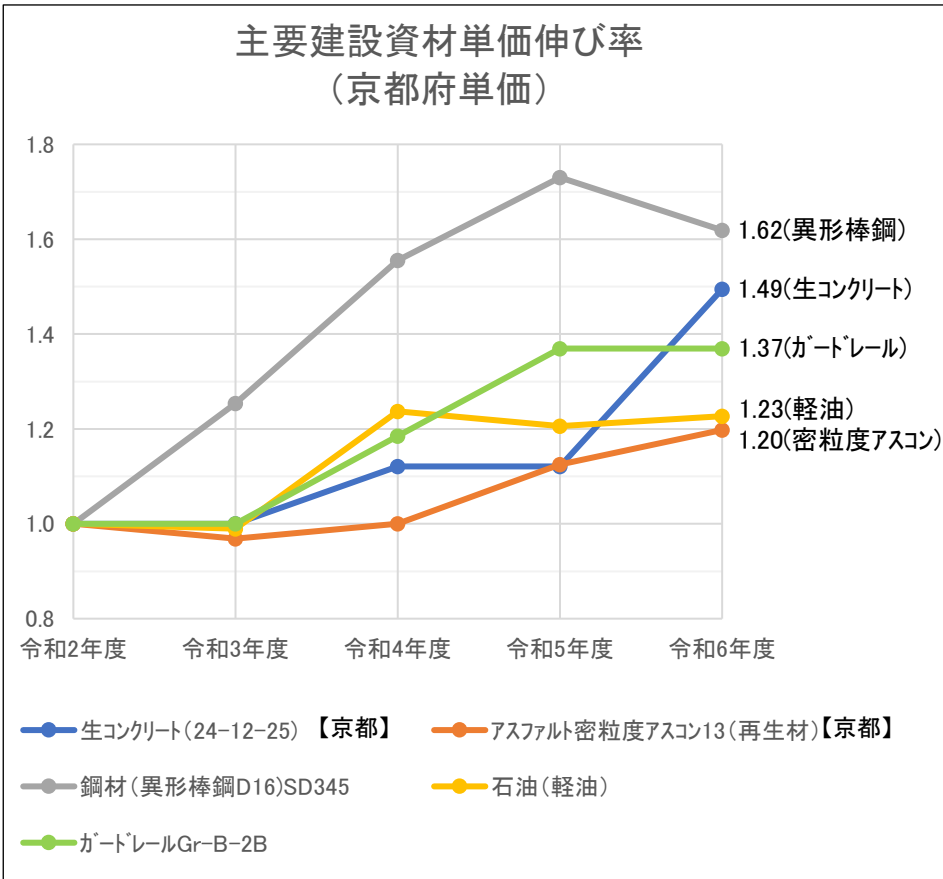
※27億円は現在価値化する前の金額である。

# 3. 事業費の見直し

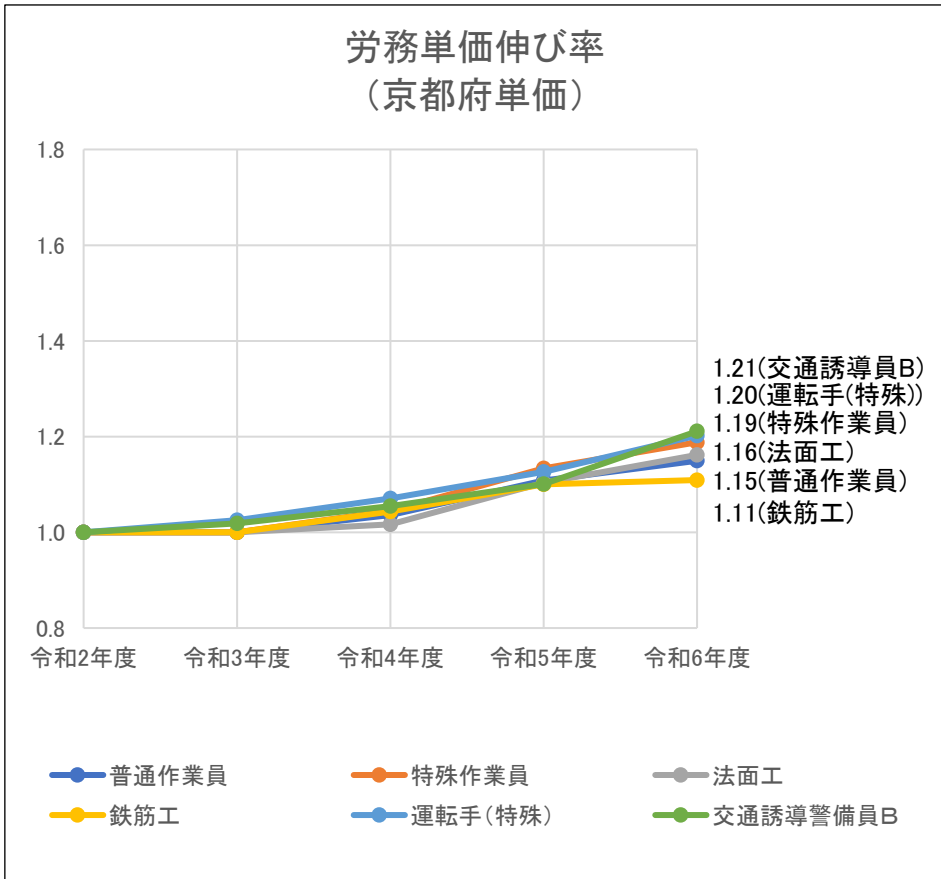
## ①物価上昇による資機材費及び労務費の増 (+21.0億円)

■ 前回評価(R2)後の資機材・労務費単価の上昇によって、増額の必要が生じた。

### ■建設資材単価の伸び率



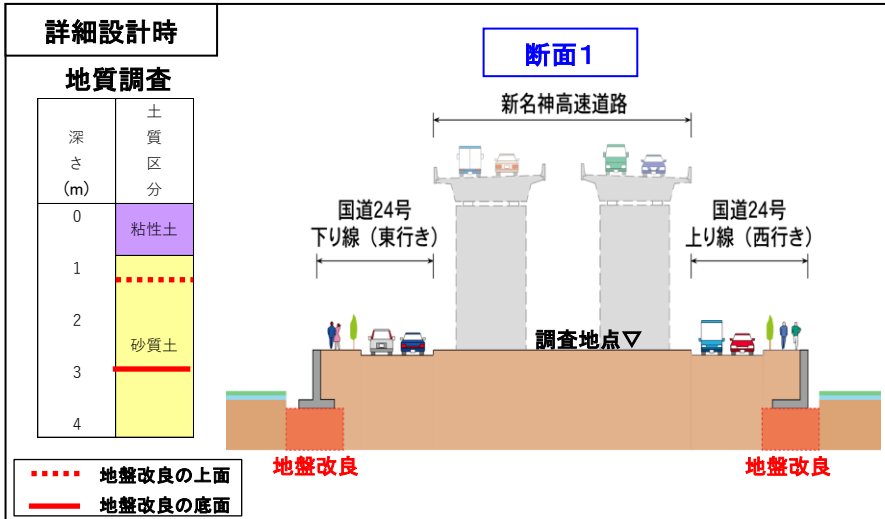
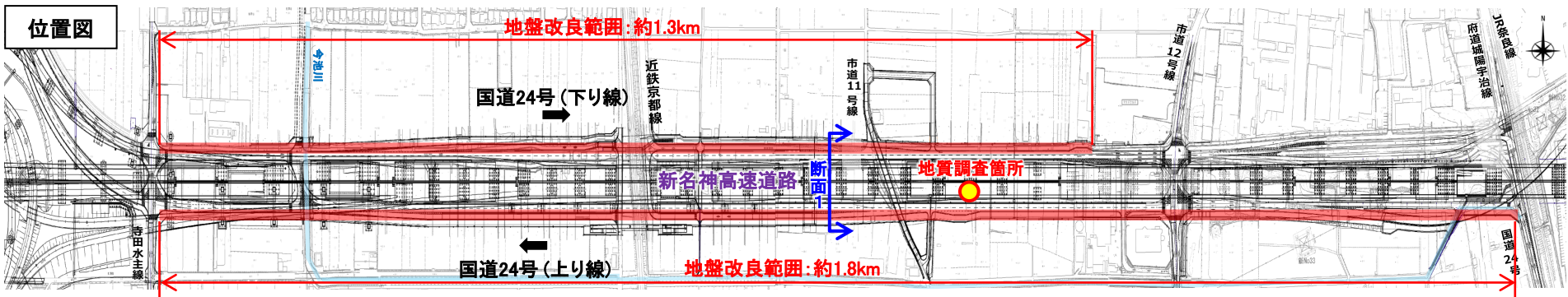
### ■労務単価の伸び率



# 3. 事業費の見直し

## ②擁壁部の地盤改良工の変更による増 (+3.4億円)

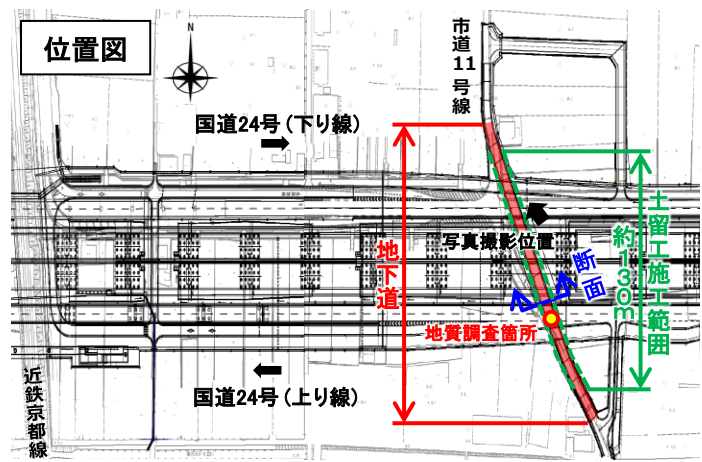
- 擁壁の詳細設計時には、地質調査結果及び改良材の配合量に関する技術資料から、設計強度を得るための添加量を80kg/m<sup>3</sup>としていた。
- 施工段階において、土壌のセメント配合試験を行った結果、含水比が高く目標とする強度が発現しなかったため、地盤改良材の添加量を増加させる必要が生じた。



# 3. 事業費の見直し

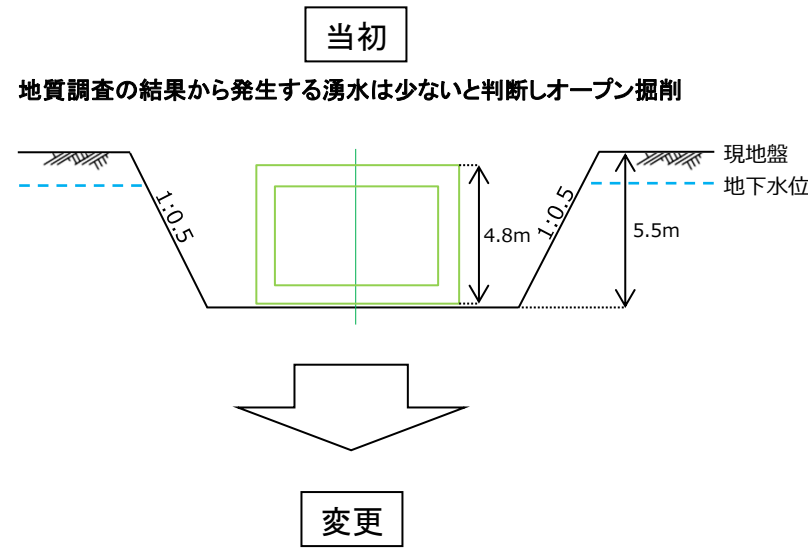
## ③地下道の施工に伴う土留仮締切の追加による増 (+3.0億円)

- 地下道の詳細設計時には、地質調査結果からオープン掘削としていた。
- 施工段階において想定以上の湧水が確認され、湧水による洗掘により床掘法面の自立が困難であったため土留仮締切を追加する必要性が生じた。



■ 柱状図

深さ(m)	土質区分
0	粘性土
地下水位	
	砂質土
5	粘性土 掘削底面
	砂質土
10	粘性土





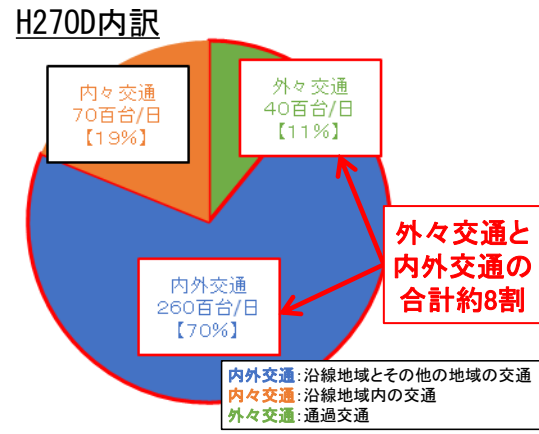
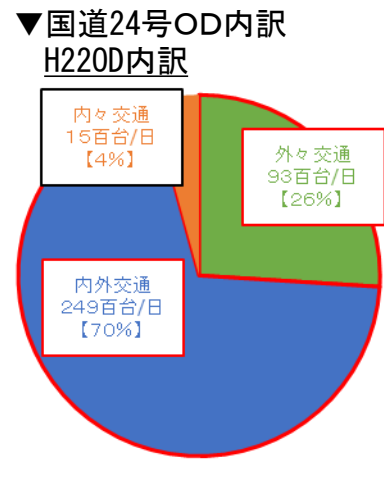
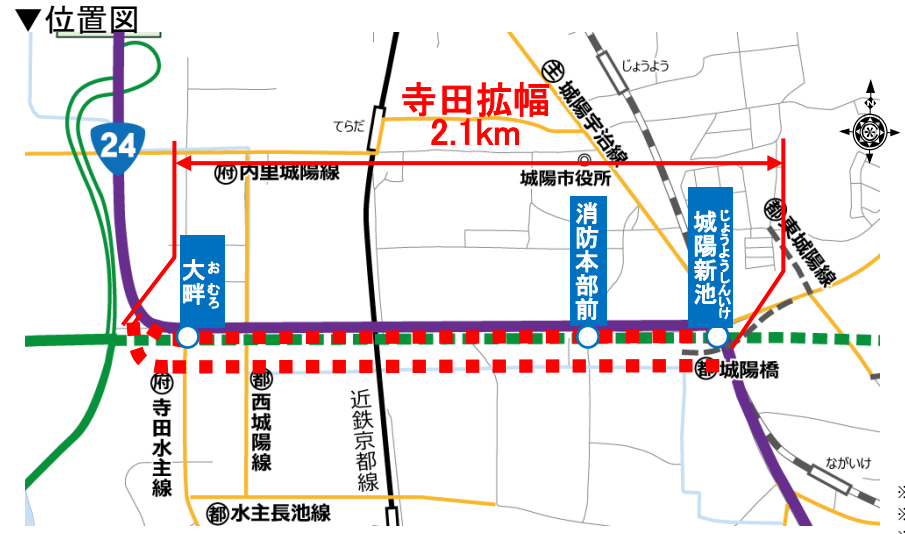
# 4. 事業の必要性等に関する視点

## 一般国道24号 寺田拡幅

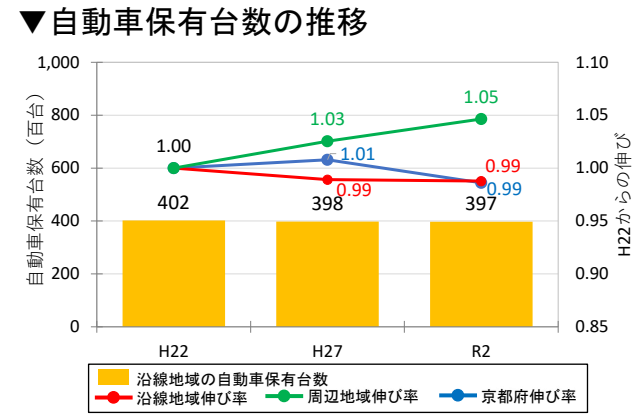
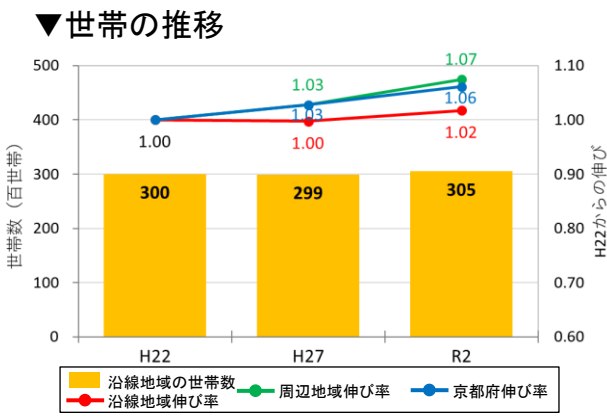
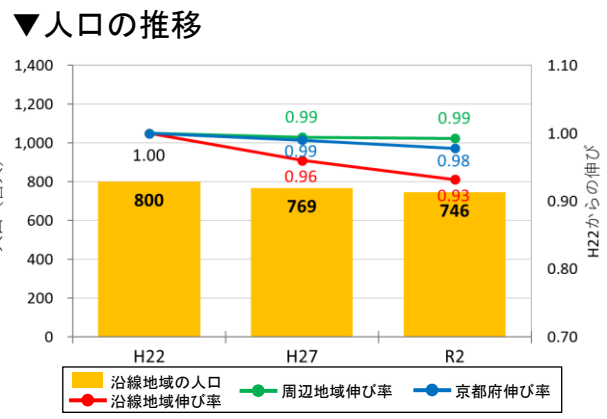
※ R2年度事業評価監視委員会の評価時点から大きな変化なし

### 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 国道24号を利用する交通特性は、外々交通が11%、内外交通70%と広域的な交通の利用が約8割を占める。
- 沿線地域の人口は減少傾向にあるが、世帯数は増加傾向であり、沿線地域の自動車保有台数に大きな変化はない。



※前回評価時(R2)は平成22年全国道路・街路交通情勢調査の現況OD調査結果を基に算出  
 ※今回評価時(R6)は平成27年全国道路・街路交通情勢調査の現況OD調査結果を基に算出  
 ※平成27年全国道路・街路交通情勢調査の現況OD調査結果が現時点で最新である。



※沿線地域: 城陽市  
 周辺地域: 大津市、京都市南区、京都市伏見区、京都市山科区、宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川、大山崎町、久御山町、井手町、宇治田原町、和束町、精華町、高槻市、枚方市、交野市、島本町、生駒市

出典: 国勢調査(人口の推移・世帯の推移)、京都府統計書(自動車保有台数)

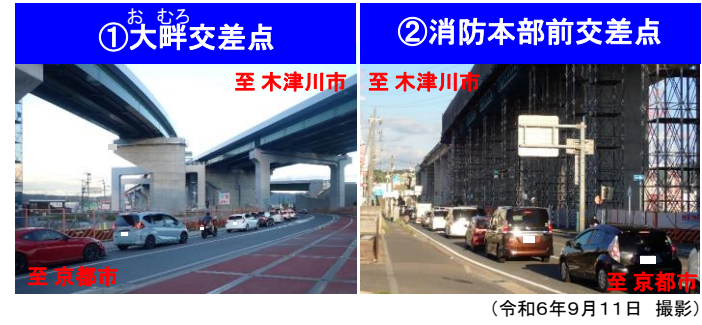
# 4. 事業の必要性等に関する視点

※ R2年度事業評価監視委員会の評価時点から大きな変化なし

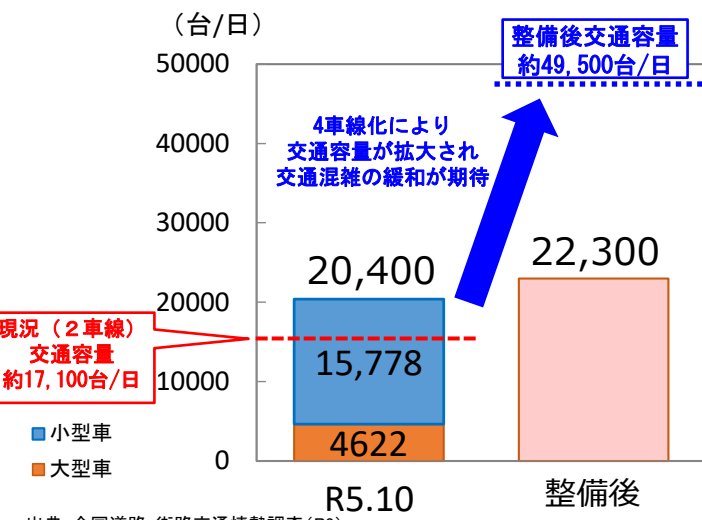
## 2) 事業の整備効果(交通渋滞の緩和)

- 事業区間の交通量は約2万4百台、交通容量は約1.2倍で交通混雑が発生している。
- 東行きは夕方、西行きは朝に特に混雑が発生しており、消防本部前交差点周辺で旅行速度が20km/h以下へ低下。
- 寺田拡幅の整備により、交通容量が拡大され交通混雑の緩和が期待される。

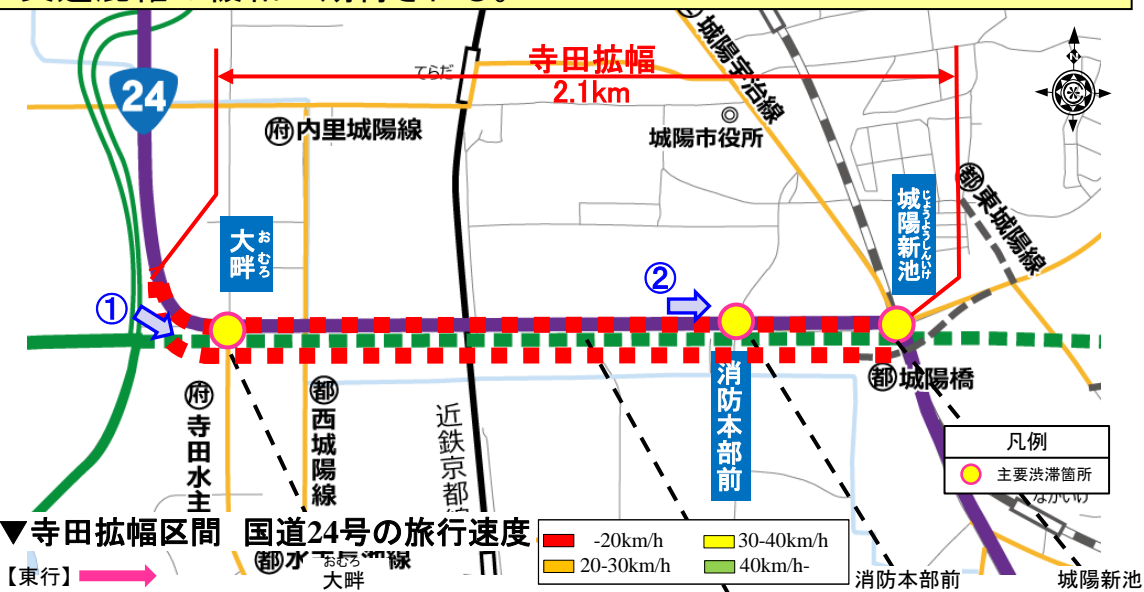
### ▼混雑状況



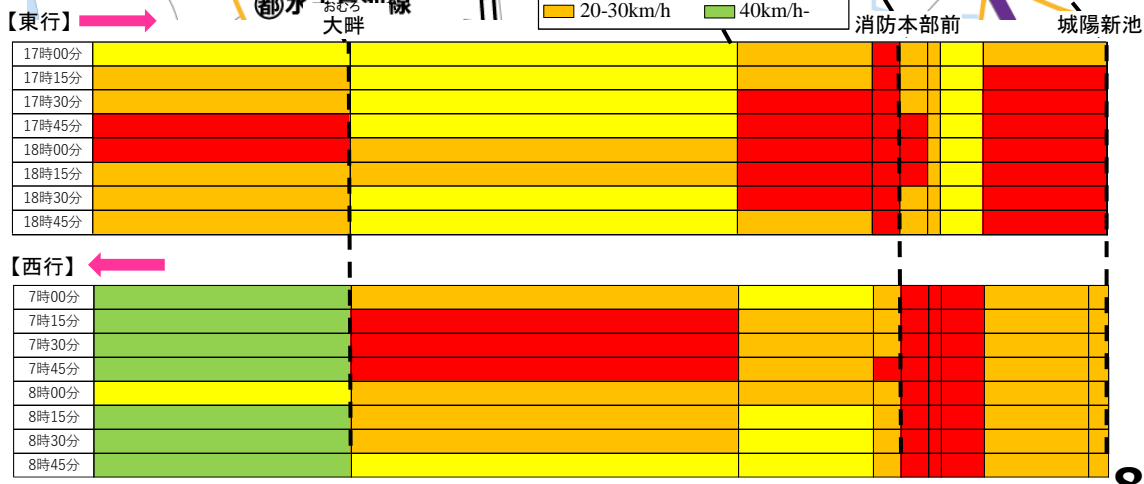
### ▼国道24号(大畔～消防本部前)交通量と交通容量



出典: 全国道路・街路交通情勢調査 (R3) 京都国道事務所交通量調査 (R5.10.19)  
※交通容量: 令和3年全国道路・街路交通情勢調査から算出  
整備後交通容量: 国道24号4車線区間の令和3年全国道路・街路交通情勢調査から算出



### ▼寺田拡幅区間 国道24号の旅行速度



出典: ETC2.0プローブ情報 期間: 令和5年9～11月平日平均

# 4. 事業の必要性等に関する視点

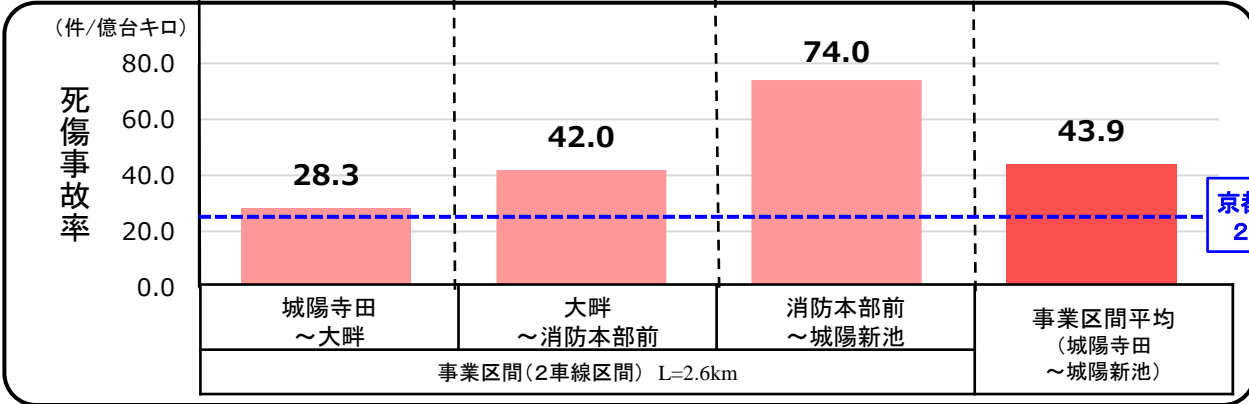
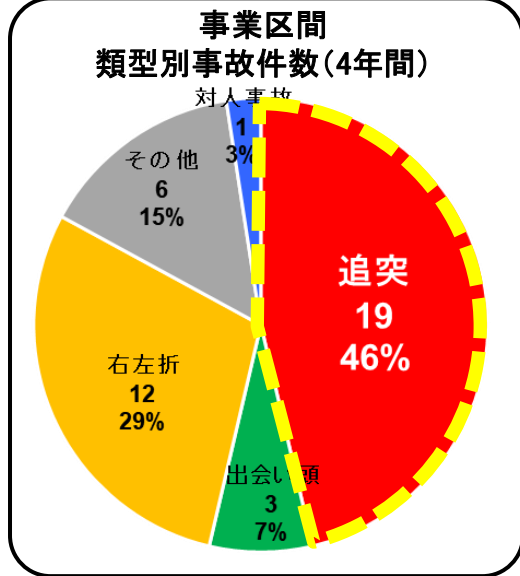
※ R2年度事業評価監視委員会の  
評価時点から大きな変化なし

## 2) 事業の整備効果(交通安全の確保)

- 事業区間では京都府の一般国道の平均値よりも死傷事故率が高く、渋滞に起因すると想定される追突事故が約5割を占める。
- 寺田拡幅の整備により交通混雑が緩和し、交通安全性の向上が期待される。

### 国道24号 区間別死傷事故率

2車線区間: 4車線区間:



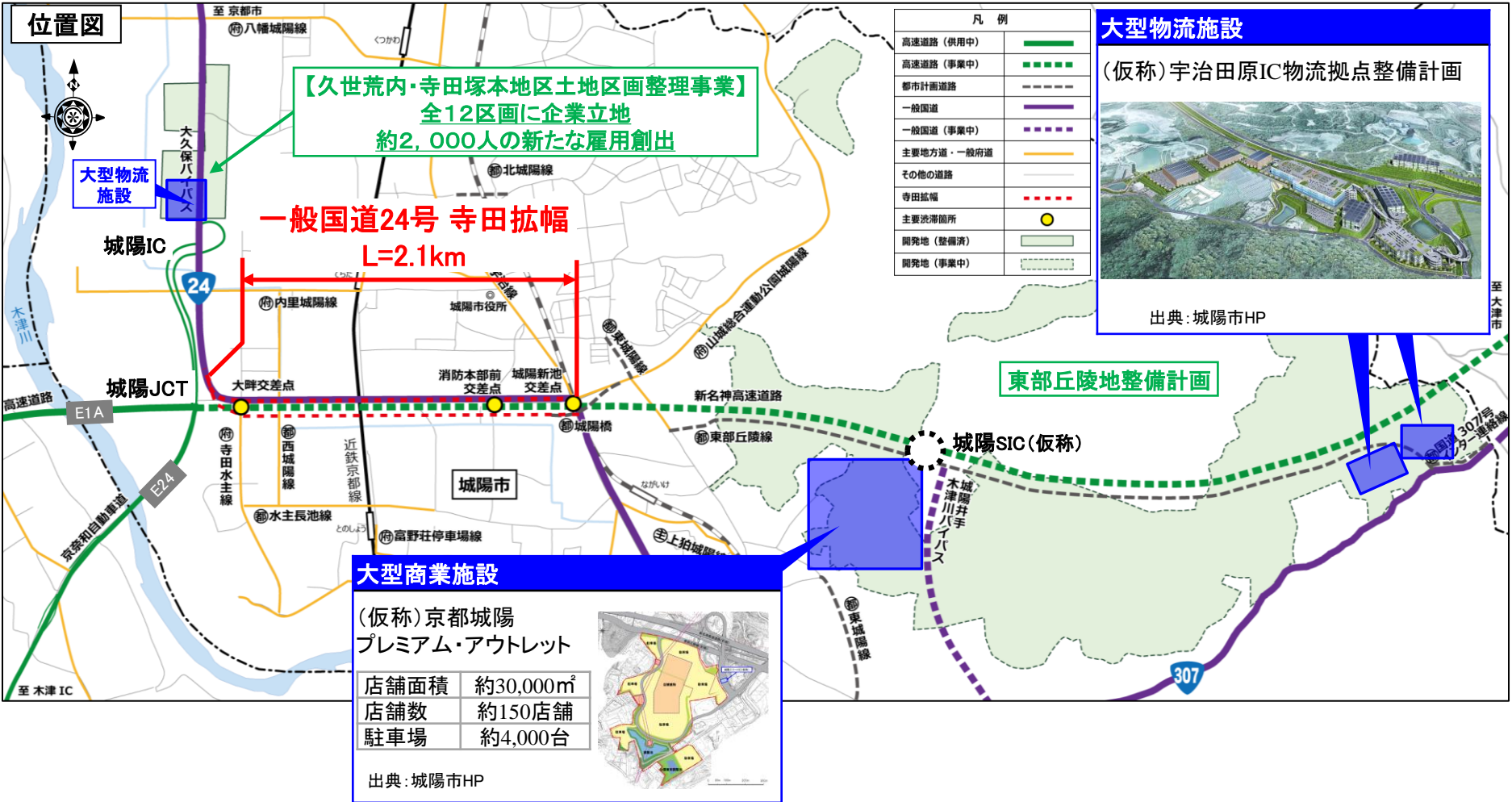
※事業区間は城陽寺田から城陽新池交差点間として計上  
(出典)【死傷事故件数】(財)交通事故分析センターによる交通事故統計データ(令和元年～令和4年)

# 4. 事業の必要性等に関する視点

## 2) 事業の整備効果(周辺開発の支援)

【B/C算出における3便益以外の整備効果】

- 事業区間周辺では、市街地整備や大型商業施設・大型物流施設の立地が進行中。
- その他、都市計画道路と一体となって整備することにより、整備が進む東部丘陵地へのアクセス機能が向上し、企業立地の促進、新たな雇用の創出などに期待される。



## 3) 事業の投資効果

### ■ 便益 (B)

道路事業に関わる便益は、令和22年度の交通量を、整備の有無それぞれについて推計し、「費用便益分析マニュアル」に基づき3便益を計上。

【3便益: 走行時間短縮便益、走行経費減少便益、交通事故減少便益】

### ■ 費用 (C)

道路整備に係る建設費、及び維持管理費で算出

### ■ 事業全体

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比 (B/C)
	244.4億円	4.3億円	2.1億円	251億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	
	205.0億円		11.0億円	216億円	

### ■ 残事業

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比 (B/C)
	244.4億円	4.3億円	2.1億円	251億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	
	30.2億円		11.0億円	41億円	

### ■ 算出条件等

※下記に示す金額は、現在価値化前の値である。

基準年 : 令和6年度

検討期間 : 50年間

現在価値算出のための

社会的割引率 : 4%

交通量の推計時点 : 令和22年度

推計に用いた資料 : 平成27年度

全国道路・街路

交通情勢調査

適用した費用便益分析

マニュアル : 令和5年12月版

事業費 : 195億円

維持管理費 : 29百万円/km

作成主体 : 近畿地方整備局

### ■ 参考比較

事業全体

費用便益比 (B/C) : 1.7 (社会的割引率 2%)

費用便益比 (B/C) : 2.2 (社会的割引率 1%)

残事業

費用便益比 (B/C) : 7.8 (社会的割引率 2%)

費用便益比 (B/C) : 8.9 (社会的割引率 1%)

※1 便益・費用については、現在価値化した値である(便益算出する原単位は令和2年価格により算出)

※2 便益・費用の合計値については、四捨五入

※3 残事業については、基準年の翌年度以降の残事業費及び翌年度以降の供用により発生する便益で算出している

## 4) 地域における計画等

### ■ 地域における計画

国道24号寺田拡幅は、下記の計画に位置づけあり

- 京都府：京都府総合計画（改訂）（令和5年3月）
- 京都府：京都のみち2040（令和元年12月）
- 城陽市：第4次城陽市総合計画後期基本計画（令和4年3月）
- 城陽市：城陽市都市計画マスタープラン（平成30年5月）
- 城陽市：城陽市国土強靱化地域計画（令和2年6月）

### ■ 要望経緯

#### ○京都府知事要望

- ・令和6年6月 国道24号「寺田拡幅」の整備推進を要望

#### ○京都府道路協会

- ・令和5年11月 国道24号「寺田拡幅」の計画的かつ着実な整備推進を要望

# 5. 事業進捗の見込みの視点

## 1) 事業の進捗状況

### 令和6年度事業内容

- ・現在、改良工事、舗装工事を実施しています。

### 進捗状況

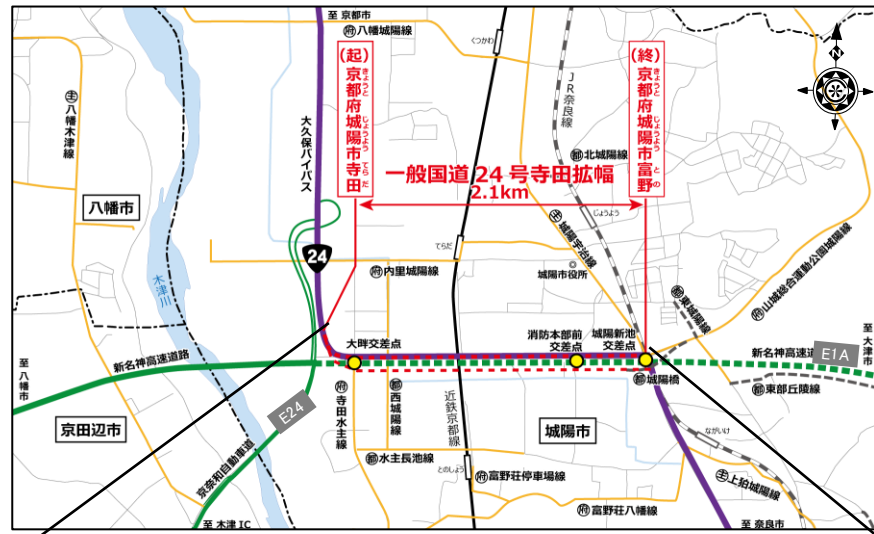
- ・令和6年3月末までの進捗は、用地取得率 約100%(面積ベース)、事業進捗率 約79%(事業費ベース)です。

### 進捗状況上の課題

- ・大きな課題はありません。

## 2) 今後のスケジュール等

- ・引き続き、事業を推進し、早期の開通を目指します。



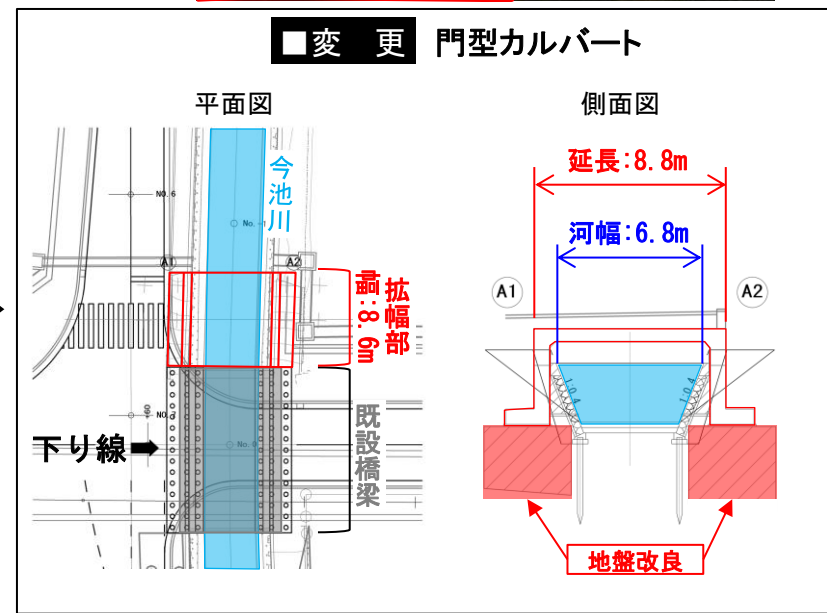
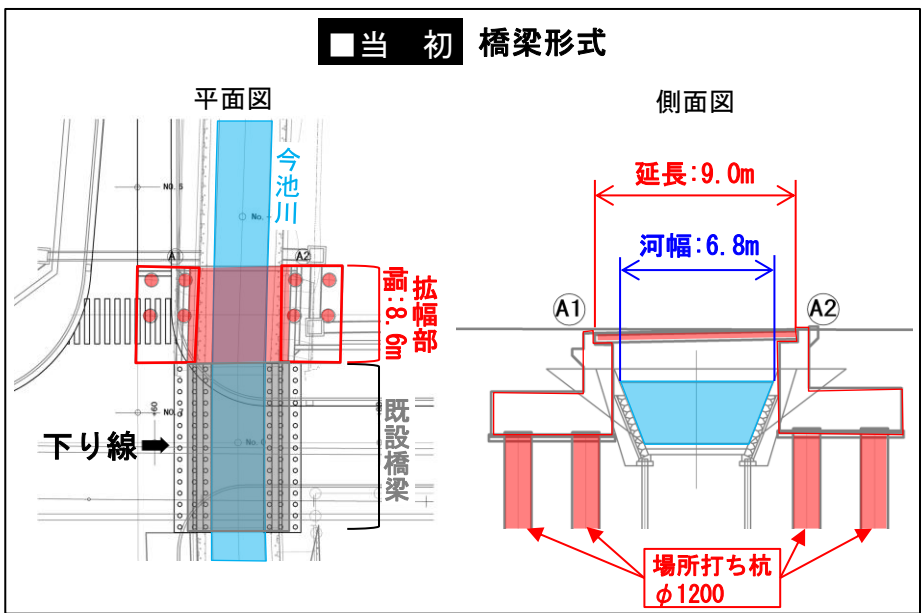
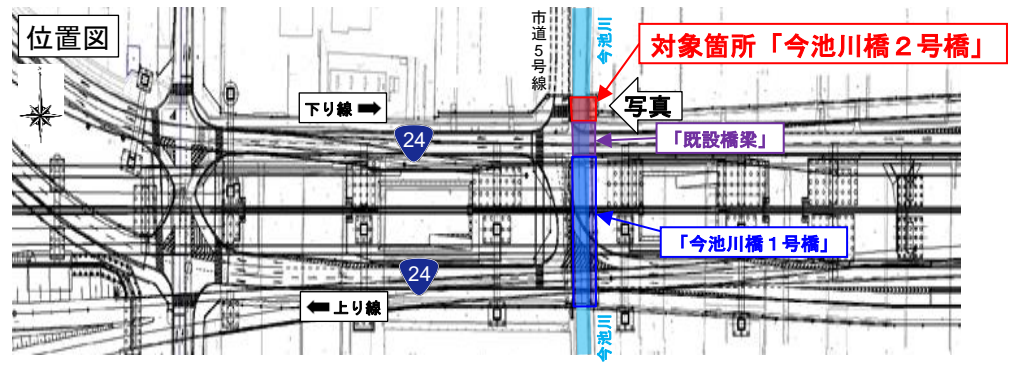
凡例	
高速道路 (供用中)	———
高速道路 (事業中)	- - - - -
都市計画道路	- - - - -
一般国道	———
一般国道 (事業中)	- - - - -
主要地方道・一般府道	———
その他の道路	———
寺田拡幅	- - - - -
主要渋滞箇所	●

区間	寺田拡幅(2.1km)
用地	用地取得率 約100%
	用地取得済
工事	工事推進

# 6. コスト縮減や代替案等の可能性の視点

- 予備設計時には、道路拡幅に伴う河川部の構造について、河川協議の結果から橋梁構造としていた。
- 詳細設計に伴い、河川管理者や地元関係者と協議をおこない条件を整理した結果、門型カルバートへの構造変更が可能となり、約0.4億円のコスト縮減が図られた。
- 今後も、技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進していきます。

## ■ 今池川渡河部を橋梁形式から門型カルバートに変更





## ■京都府知事

令和6年11月6日 6道計第180号

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

事業継続という対応方針(原案)に賛成します。

一般国道24号寺田拡幅には、周辺地域の渋滞緩和、交通事故の減少やアクセス機能の向上による企業立地の促進が期待されております。

当該事業を継続するに際しましては、関連事業との緊密な工程調整のうえ、早期の開通を図られるとともに、より一層のコスト縮減に努められるようお願いいたします。

## ◆沿線市町村の期待

### ■城陽市長

(期待する効果)

#### ①交通利便性の向上・市街地内交通量の減少

- ・国道24号の交通渋滞の緩和により、城陽市域の交通利便性の向上に期待。
- ・小中学校の通学路を含む、生活道路における通過交通の減少に期待。

#### ②企業立地

- ・現在、企業立地に向けた取り組みを進めている東部丘陵地長池地区（アウトレットモール）、青谷地区（物流拠点）への交通アクセスの向上及び地元雇用の創出並びに税収増加に期待。

#### ③防災面

- ・道路事業により雨水流出量の増加が懸念される中、調整池の設置による流量抑制が講じられることにより、下流域への浸水被害の軽減に期待。

#### ④その他

- ・新名神高速道路との一体整備に伴い、城陽市が交通の要衝となり、交流人口の拡大・企業立地の促進による地域の活性化に期待。

(取り組み)

#### ①企業立地

- ・新名神高速道路（大津～城陽）の開通に合わせて、東部丘陵地長池地区（約25ha）、青谷地区（約41ha）の土地利用を推進するとともに、東部丘陵地のさらなる開発を推進。

#### ②道路整備

- ・国道24号寺田拡幅事業をはじめとする、東部丘陵地のまちづくりに必要な4車線の幹線道路ネットワークの整備として、都市の骨格を形成する(都)東部丘陵線の整備や、国道24号から寺田地域にアクセスする(都)西城陽線の整備を実施中。

寺田拡幅は、事業の必要性等に関する視点、事業の進捗の見込みの視点から継続が妥当と判断できる。  
引き続き事業を推進し、早期の開通を目指すことが適切である。

**事業継続**



No. 3-2  
近畿地方整備局事  
業評価監視委員会  
令和6年度第2回

# 一般国道24号

てらだ

# 寺田拡幅

## 【再評価】

### (計算結果等参考資料)

令和6年11月  
近畿地方整備局

(再評価)

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道24号 寺田拡幅
事業区分	一般国道(二次改築)
事業主体	近畿地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比(B/C)=1.2(経済的純現在価値(B-C)=35億円、経済的内部収益率(EIRR)=4.7%) 残事業：費用便益比(B/C)=6.1(経済的純現在価値(B-C)=210億円、経済的内部収益率(EIRR)=34.4%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	
	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a(費用便益分析対象区間)について 渋滞損失時間(現況)：21991万人・時間/年 渋滞損失削減時間：46万人・時間/年(21991万人・時間/年⇒21945万人・時間/年) 区間b(当該区間/並行区間)について：(府)内里城陽線(主)宇治淀線 並行区間等(当該区間)の渋滞損失時間：50万人・時間/年 並行区間等(当該区間)の渋滞損失削減率：4割削減
	■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	国道24号(寺田拡幅区間) 西行：旅行速度12.3km/h、東行：旅行速度15.5km/h
	□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
	■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	城陽さんさんバス：鴻ノ巣山運動公園近鉄寺田線
	■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	アクセス向上が見込まれる新幹線駅：城陽市役所～京都駅南口、改善見込み：37分⇒34分
	■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	アクセス向上が見込まれる空港：城陽市役所～関西国際空港、改善見込み：86分⇒83分
	物流効率化の支援	
	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	アクセス向上が見込まれる港湾：城陽市役所～大阪港、改善見込み：72分⇒69分
	□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上が見込まれる	
	□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	

1. 活力	都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		<input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	久世荒内・寺田塚本地区土地区画整理事業、東部丘陵地整備計画
		<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である	
		<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
	国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけあり	
		<input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	
		<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する(A'路線としての位置づけがある場合)	
		<input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	城陽市役所～京都市役所 改善見込み：44分⇒41分
	個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	東部丘陵地整備計画
		<input type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	
		<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
	<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する		
	安全で安心できるくらしの確保	<input type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	

3. 安全		
安全な生活環境の確保		
<input type="checkbox"/>	現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
<input type="checkbox"/>	当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
災害への備え		
<input type="checkbox"/>	近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
<input checked="" type="checkbox"/>	対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	対象区間は、第一次緊急輸送道路に位置づけられている。
<input type="checkbox"/>	緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	
<input type="checkbox"/>	並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
<input type="checkbox"/>	現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
<input type="checkbox"/>	現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
4. 環境		
地球環境の保全		
<input checked="" type="checkbox"/>	対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量:1255.45t-CO2/年
生活環境の改善・保全		
<input checked="" type="checkbox"/>	現道等における自動車からのNO2排出削減率	(推計結果) 評価対象区間（現道／平行区間等）：(府)内里城陽線（主）宇治淀線 排出削減量：4.07t/年、排出削減率：2割削減
<input checked="" type="checkbox"/>	現道等における自動車からのSPM排出削減率	(推計結果) 評価対象区間（現道／平行区間等）：(府)内里城陽線（主）宇治淀線 排出削減量：0.25t/年、排出削減率：2割削減
<input type="checkbox"/>	現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
<input type="checkbox"/>	その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他		
他のプロジェクトとの関係		
<input checked="" type="checkbox"/>	関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	新名神高速道路
<input type="checkbox"/>	他機関との連携プログラムに位置づけられている	
<input type="checkbox"/>	その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

(再評価)

様式-2

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道24号	寺田拡幅	L=2.1km	二次改築	現拡

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
22,300	4車線	近畿地方整備局

### ① 費用

	事業費	維持管理費	更新費	合計
基準年	令和6年度			
単純合計	179億円	28億円		207億円
うち残事業分	32億円	28億円		60億円
基準年における 現在価値 (C)	205億円	11億円		216億円
うち残事業分	30億円	11億円		41億円



② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	令和6年度			
供 用 年	令和9年度			
単年便益 (初年便益)	13億円	0.22億円	0.11億円	14億円
基準年における 現在価値 (B)	244億円	4.3億円	2.1億円	251億円
うち残事業分	244億円	4.3億円	2.1億円	251億円

③ 結 果

【事業全体】

費用便益比 (B/C)	1.2 [4%]	[参考] 1.7 [2%]	[参考] 2.2 [1%]
経済的純現在価値 (B-C)	35億円 [4%]	[参考] 158億円 [2%]	[参考] 254億円 [1%]
経済的内部収益率 (EIRR)	4.7%		

※ [ ] 内は社会的割引率

【残事業】

費用便益比 (B/C)	6.1 [4%]	[参考] 7.8 [2%]	[参考] 8.9 [1%]
経済的純現在価値 (B-C)	210億円 [4%]	[参考] 325億円 [2%]	[参考] 416億円 [1%]
経済的内部収益率 (EIRR)	34.4%		

※ [ ] 内は社会的割引率

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	22,300台/日	±10%	1.04~1.3
事業費	179億円	±10%	1.1~1.2
事業期間	14年	±20%	1.2~1.2

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	22,300台/日	±10%	5.5~6.7
事業費	32億円	±10%	5.7~6.6
事業期間	2年	±20%	6.1~6.1

# 交通状況の変化

様式-3①

## 事業名：寺田拡幅（事業全体）

（推計時点 令和22年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 (2.1km)	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	21,200	22,300	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	5	2	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	20.94	9.34	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	(府)内里城陽線 (1.5km)	交通量	[台/日]	7,500	7,500
		走行時間	[分]	5	5
		走行時間費用	[億円/年]	6.74	6.74
	(主)宇治淀線 (1.7km)	交通量	[台/日]	18,900	18,800
		走行時間	[分]	7	7
		走行時間費用	[億円/年]	23.60	23.55
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
	交通量	[台/日]			
	走行時間	[分]			
	走行時間費用	[億円/年]			
③その他道路合計 (3,819.6km)	走行時間費用	[億円/年]	12,072.51	12,071.37	

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：3,824.9km	走行時間短縮便益	[億円/年]	12,123.79	12,111.00	12.78

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

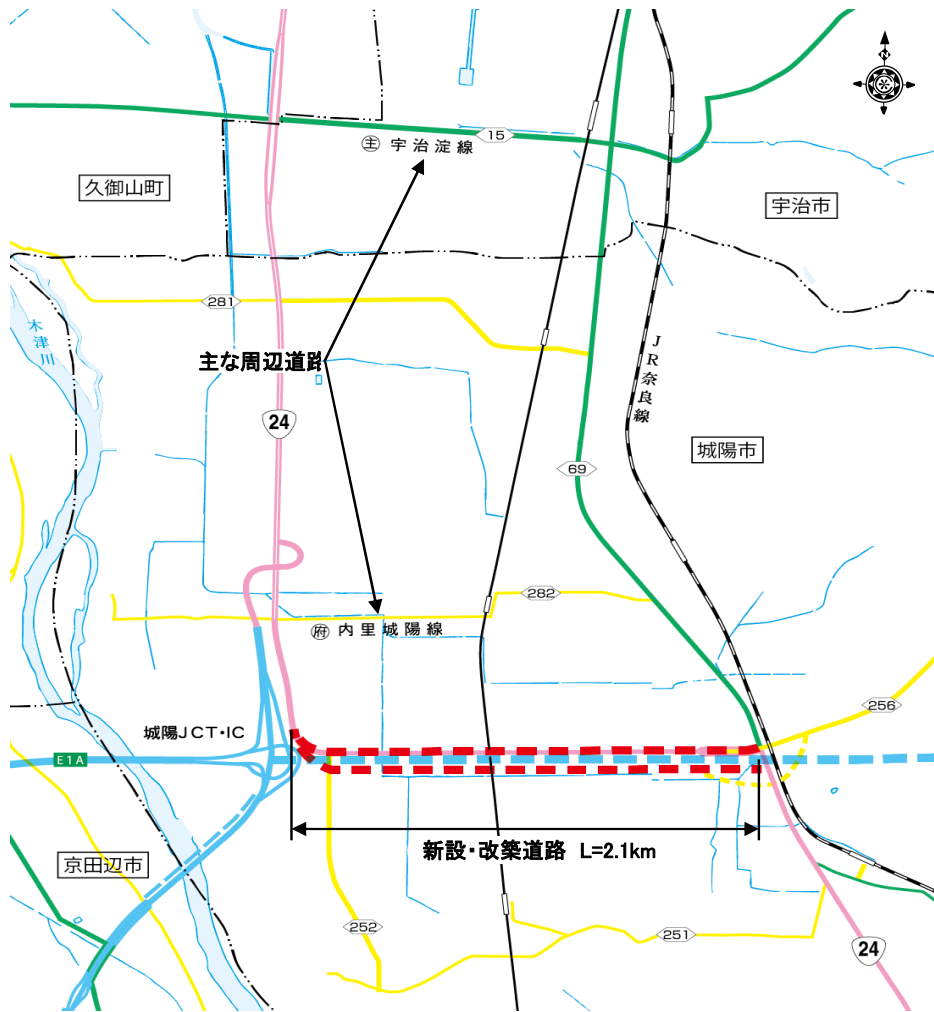
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



# 交通状況の変化

様式-3①

## 事業名：寺田拡幅（残事業）

（推計時点 令和22年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 (2.1km)	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	21,200	22,300	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	5	2	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	20.94	9.34	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	(府)内里城陽線 (1.5km)	交通量	[台/日]	7,500	7,500
		走行時間	[分]	5	5
		走行時間費用	[億円/年]	6.74	6.74
	(主)宇治淀線 (1.7km)	交通量	[台/日]	18,900	18,800
		走行時間	[分]	7	7
		走行時間費用	[億円/年]	23.60	23.55
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
	交通量	[台/日]			
	走行時間	[分]			
	走行時間費用	[億円/年]			
③その他道路合計 (3,819.6km)	走行時間費用	[億円/年]	12,072.51	12,071.37	

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：3,824.9km	走行時間短縮便益	[億円/年]	12,123.79	12,111.00	12.78

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

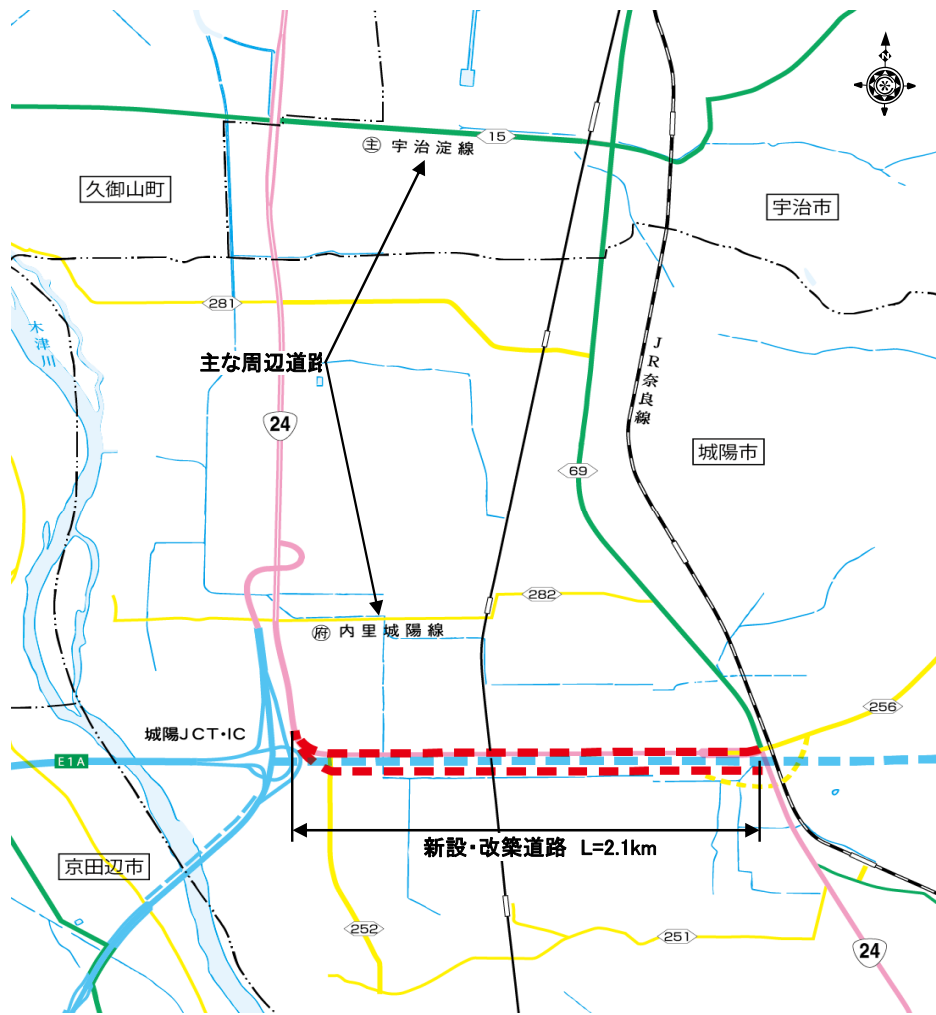
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



## 費用便益分析の条件

事業名:一般国道24号 寺田拡幅

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (令和5年12月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	比較のために参考とすべき値	2%、1%
	基準年次	令和6年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (令和22年)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H27センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他( )	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ( )台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他( )
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
	その他( )	<input type="checkbox"/>
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、最終速度を採用。	
	その他( )	<input type="checkbox"/>

交通流推計

(3)

項目		チェック欄	
休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
		対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
		採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	( ) %
災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	( ) 日
		とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	( ) 日
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他 ( )	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用 算出婚子を添付すること	<input type="checkbox"/>	
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用 算出婚子を添付すること	<input type="checkbox"/>	
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>	
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>	
その他			

便益の算定





## 費用の現在価値算定表(事業全体)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道24号 寺田拡幅

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.29	2.1	0.61

年次	年度	社会的 割引率	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
					単純単価	現在価値	単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-14年目	H 25	4%	1.5395	96.4	0.48	0.78				
-13年目	H 26	4%	1.4802	98.7	0.93	1.43				
-12年目	H 27	4%	1.4233	100.2	2.12	3.09				
-11年目	H 28	4%	1.3686	100.2	11.98	16.80				
-10年目	H 29	4%	1.3159	100.5	12.51	16.83				
-9年目	H 30	4%	1.2653	100.4	10.08	13.05				
-8年目	R 1	4%	1.2167	101.2	25.28	31.21				
-7年目	R 2	4%	1.1699	101.9	27.56	32.50				
-6年目	R 3	4%	1.1249	101.8	25.25	28.65				
-5年目	R 4	4%	1.0816	102.7	11.86	12.83				
-4年目	R 5	4%	1.0400	102.7	14.36	14.94				
-3年目	R 6	4%	1.0000	102.7	5.00	5.00				
-2年目	R 7	4%	0.9615	102.7	16.36	15.73				
-1年目	R 8	4%	0.9246	102.7	15.64	14.46				
供用開始年次	R 9	4%	0.8890	102.7			0.55	0.49		
1年目	R 10	4%	0.8548	102.7			0.55	0.47		
2年目	R 11	4%	0.8219	102.7			0.55	0.46		
3年目	R 12	4%	0.7903	102.7			0.55	0.44		
4年目	R 13	4%	0.7599	102.7			0.55	0.42		
5年目	R 14	4%	0.7307	102.7			0.55	0.41		
6年目	R 15	4%	0.7026	102.7			0.55	0.39		
7年目	R 16	4%	0.6756	102.7			0.55	0.37		
8年目	R 17	4%	0.6496	102.7			0.55	0.36		
9年目	R 18	4%	0.6246	102.7			0.55	0.35		
10年目	R 19	4%	0.6006	102.7			0.55	0.33		
11年目	R 20	4%	0.5775	102.7			0.55	0.32		
12年目	R 21	4%	0.5553	102.7			0.55	0.31		
13年目	R 22	4%	0.5339	102.7			0.55	0.30		
14年目	R 23	4%	0.5134	102.7			0.55	0.28		
15年目	R 24	4%	0.4936	102.7			0.55	0.27		
16年目	R 25	4%	0.4746	102.7			0.55	0.26		
17年目	R 26	4%	0.4564	102.7			0.55	0.25		
18年目	R 27	4%	0.4388	102.7			0.55	0.24		
19年目	R 28	4%	0.4220	102.7			0.55	0.23		
20年目	R 29	4%	0.4057	102.7			0.55	0.22		
21年目	R 30	4%	0.3901	102.7			0.55	0.22		
22年目	R 31	4%	0.3751	102.7			0.55	0.21		
23年目	R 32	4%	0.3607	102.7			0.55	0.20		
24年目	R 33	4%	0.3468	102.7			0.55	0.19		
25年目	R 34	4%	0.3335	102.7			0.55	0.18		
26年目	R 35	4%	0.3207	102.7			0.55	0.18		
27年目	R 36	4%	0.3083	102.7			0.55	0.17		
28年目	R 37	4%	0.2965	102.7			0.55	0.16		
29年目	R 38	4%	0.2851	102.7			0.55	0.16		
30年目	R 39	4%	0.2741	102.7			0.55	0.15		
31年目	R 40	4%	0.2636	102.7			0.55	0.15		
32年目	R 41	4%	0.2534	102.7			0.55	0.14		
33年目	R 42	4%	0.2437	102.7			0.55	0.14		
34年目	R 43	4%	0.2343	102.7			0.55	0.13		
35年目	R 44	4%	0.2253	102.7			0.55	0.12		
36年目	R 45	4%	0.2166	102.7			0.55	0.12		
37年目	R 46	4%	0.2083	102.7			0.55	0.12		
38年目	R 47	4%	0.2003	102.7			0.55	0.11		
39年目	R 48	4%	0.1926	102.7			0.55	0.11		
40年目	R 49	4%	0.1852	102.7			0.55	0.10		
41年目	R 50	4%	0.1780	102.7			0.55	0.10		
42年目	R 51	4%	0.1712	102.7			0.55	0.09		
43年目	R 52	4%	0.1646	102.7			0.55	0.09		
44年目	R 53	4%	0.1583	102.7			0.55	0.09		
45年目	R 54	4%	0.1522	102.7			0.55	0.08		
46年目	R 55	4%	0.1463	102.7			0.55	0.08		
47年目	R 56	4%	0.1407	102.7			0.55	0.08		
48年目	R 57	4%	0.1353	102.7			0.55	0.08		
49年目	R 58	4%	0.1301	102.7			0.55	0.07		
合計					161.51	204.97	27.73	10.99		
単純事業費計					179.41		27.73			

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

## 費用の現在価値算定表(残事業)

箇所名:一般国道24号 寺田拡幅

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

年次	年度	社会的割引率	割引率	GDPデフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
					単純単価	現在価値	単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-2年目	R 7	4%	0.9615	102.7	16.36	15.73				
-1年目	R 8	4%	0.9246	102.7	15.64	14.46				
供用開始年次	R 9	4%	0.8890	102.7			0.55	0.49		
1年目	R 10	4%	0.8548	102.7			0.55	0.47		
2年目	R 11	4%	0.8219	102.7			0.55	0.46		
3年目	R 12	4%	0.7903	102.7			0.55	0.44		
4年目	R 13	4%	0.7599	102.7			0.55	0.42		
5年目	R 14	4%	0.7307	102.7			0.55	0.41		
6年目	R 15	4%	0.7026	102.7			0.55	0.39		
7年目	R 16	4%	0.6756	102.7			0.55	0.37		
8年目	R 17	4%	0.6496	102.7			0.55	0.36		
9年目	R 18	4%	0.6246	102.7			0.55	0.35		
10年目	R 19	4%	0.6006	102.7			0.55	0.33		
11年目	R 20	4%	0.5775	102.7			0.55	0.32		
12年目	R 21	4%	0.5553	102.7			0.55	0.31		
13年目	R 22	4%	0.5339	102.7			0.55	0.30		
14年目	R 23	4%	0.5134	102.7			0.55	0.28		
15年目	R 24	4%	0.4936	102.7			0.55	0.27		
16年目	R 25	4%	0.4746	102.7			0.55	0.26		
17年目	R 26	4%	0.4564	102.7			0.55	0.25		
18年目	R 27	4%	0.4388	102.7			0.55	0.24		
19年目	R 28	4%	0.4220	102.7			0.55	0.23		
20年目	R 29	4%	0.4057	102.7			0.55	0.22		
21年目	R 30	4%	0.3901	102.7			0.55	0.22		
22年目	R 31	4%	0.3751	102.7			0.55	0.21		
23年目	R 32	4%	0.3607	102.7			0.55	0.20		
24年目	R 33	4%	0.3468	102.7			0.55	0.19		
25年目	R 34	4%	0.3335	102.7			0.55	0.18		
26年目	R 35	4%	0.3207	102.7			0.55	0.18		
27年目	R 36	4%	0.3083	102.7			0.55	0.17		
28年目	R 37	4%	0.2965	102.7			0.55	0.16		
29年目	R 38	4%	0.2851	102.7			0.55	0.16		
30年目	R 39	4%	0.2741	102.7			0.55	0.15		
31年目	R 40	4%	0.2636	102.7			0.55	0.15		
32年目	R 41	4%	0.2534	102.7			0.55	0.14		
33年目	R 42	4%	0.2437	102.7			0.55	0.14		
34年目	R 43	4%	0.2343	102.7			0.55	0.13		
35年目	R 44	4%	0.2253	102.7			0.55	0.12		
36年目	R 45	4%	0.2166	102.7			0.55	0.12		
37年目	R 46	4%	0.2083	102.7			0.55	0.12		
38年目	R 47	4%	0.2003	102.7			0.55	0.11		
39年目	R 48	4%	0.1926	102.7			0.55	0.11		
40年目	R 49	4%	0.1852	102.7			0.55	0.10		
41年目	R 50	4%	0.1780	102.7			0.55	0.10		
42年目	R 51	4%	0.1712	102.7			0.55	0.09		
43年目	R 52	4%	0.1646	102.7			0.55	0.09		
44年目	R 53	4%	0.1583	102.7			0.55	0.09		
45年目	R 54	4%	0.1522	102.7			0.55	0.08		
46年目	R 55	4%	0.1463	102.7			0.55	0.08		
47年目	R 56	4%	0.1407	102.7			0.55	0.08		
48年目	R 57	4%	0.1353	102.7			0.55	0.08		
49年目	R 58	4%	0.1301	102.7	0.00	0.00	0.55	0.07		
合計					32.00	30.19	27.73	10.99		
単純事業費計					32.00		27.73			

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。





## 費用の現在価値算定表(事業全体)

箇所名:一般国道24号 寺田拡幅

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

年次	年度	社会的 割引率	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
					単純単価	現在価値	単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-14年目	H 25	4%	1.5097	96.4	0.48	0.77				
-13年目	H 26	4%	1.4516	98.7	0.93	1.40				
-12年目	H 27	4%	1.3958	100.2	2.12	3.03				
-11年目	H 28	4%	1.3421	100.2	11.98	16.48				
-10年目	H 29	4%	1.2905	100.5	12.51	16.50				
-9年目	H 30	4%	1.2409	100.4	10.08	12.80				
-8年目	R 1	4%	1.1932	101.2	25.28	30.61				
-7年目	R 2	4%	1.1473	101.9	27.56	31.87				
-6年目	R 3	4%	1.1032	101.8	25.25	28.10				
-5年目	R 4	4%	1.0608	102.7	11.86	12.59				
-4年目	R 5	2%	1.0200	102.7	14.36	14.65				
-3年目	R 6	2%	1.0000	102.7	5.00	5.00				
-2年目	R 7	2%	0.9804	102.7	16.36	16.04				
-1年目	R 8	2%	0.9612	102.7	15.64	15.03				
供用開始年次	R 9	2%	0.9424	102.7			0.55	0.52		
1年目	R 10	2%	0.9239	102.7			0.55	0.51		
2年目	R 11	2%	0.9058	102.7			0.55	0.50		
3年目	R 12	2%	0.8880	102.7			0.55	0.49		
4年目	R 13	2%	0.8706	102.7			0.55	0.48		
5年目	R 14	2%	0.8535	102.7			0.55	0.47		
6年目	R 15	2%	0.8368	102.7			0.55	0.46		
7年目	R 16	2%	0.8204	102.7			0.55	0.45		
8年目	R 17	2%	0.8043	102.7			0.55	0.45		
9年目	R 18	2%	0.7885	102.7			0.55	0.44		
10年目	R 19	2%	0.7730	102.7			0.55	0.43		
11年目	R 20	2%	0.7578	102.7			0.55	0.42		
12年目	R 21	2%	0.7429	102.7			0.55	0.41		
13年目	R 22	2%	0.7283	102.7			0.55	0.40		
14年目	R 23	2%	0.7140	102.7			0.55	0.40		
15年目	R 24	2%	0.7000	102.7			0.55	0.39		
16年目	R 25	2%	0.6863	102.7			0.55	0.38		
17年目	R 26	2%	0.6728	102.7			0.55	0.37		
18年目	R 27	2%	0.6596	102.7			0.55	0.37		
19年目	R 28	2%	0.6467	102.7			0.55	0.36		
20年目	R 29	2%	0.6340	102.7			0.55	0.35		
21年目	R 30	2%	0.6216	102.7			0.55	0.34		
22年目	R 31	2%	0.6094	102.7			0.55	0.34		
23年目	R 32	2%	0.5975	102.7			0.55	0.33		
24年目	R 33	2%	0.5858	102.7			0.55	0.32		
25年目	R 34	2%	0.5743	102.7			0.55	0.32		
26年目	R 35	2%	0.5630	102.7			0.55	0.31		
27年目	R 36	2%	0.5520	102.7			0.55	0.31		
28年目	R 37	2%	0.5412	102.7			0.55	0.30		
29年目	R 38	2%	0.5306	102.7			0.55	0.29		
30年目	R 39	2%	0.5202	102.7			0.55	0.29		
31年目	R 40	2%	0.5100	102.7			0.55	0.28		
32年目	R 41	2%	0.5000	102.7			0.55	0.28		
33年目	R 42	2%	0.4902	102.7			0.55	0.27		
34年目	R 43	2%	0.4806	102.7			0.55	0.27		
35年目	R 44	2%	0.4712	102.7			0.55	0.26		
36年目	R 45	2%	0.4620	102.7			0.55	0.26		
37年目	R 46	2%	0.4529	102.7			0.55	0.25		
38年目	R 47	2%	0.4440	102.7			0.55	0.25		
39年目	R 48	2%	0.4353	102.7			0.55	0.24		
40年目	R 49	2%	0.4268	102.7			0.55	0.24		
41年目	R 50	2%	0.4184	102.7			0.55	0.23		
42年目	R 51	2%	0.4102	102.7			0.55	0.23		
43年目	R 52	2%	0.4022	102.7			0.55	0.22		
44年目	R 53	2%	0.3943	102.7			0.55	0.22		
45年目	R 54	2%	0.3866	102.7			0.55	0.21		
46年目	R 55	2%	0.3790	102.7			0.55	0.21		
47年目	R 56	2%	0.3716	102.7			0.55	0.21		
48年目	R 57	2%	0.3643	102.7			0.55	0.20		
49年目	R 58	2%	0.3572	102.7	-17.90	-6.39	0.55	0.20		
合計					161.51	198.48	27.73	16.73		
単純事業費計					179.41		27.73			

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

## 費用の現在価値算定表(残事業)

箇所名:一般国道24号 寺田拡幅

維持管理費の単価単価の算出(消費税相当額含む)

年次	年度	社会的割引率	割引率	GDPデフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
					単価(億円)	延長(km)	単価(億円)	単価(億円)	現在価値	
-2年目	R 7	2%	0.9804	102.7	16.36	16.04				
-1年目	R 8	2%	0.9612	102.7	15.64	15.03				
供用開始年次	R 9	2%	0.9424	102.7			0.55	0.52		
1年目	R 10	2%	0.9239	102.7			0.55	0.51		
2年目	R 11	2%	0.9058	102.7			0.55	0.50		
3年目	R 12	2%	0.8880	102.7			0.55	0.49		
4年目	R 13	2%	0.8706	102.7			0.55	0.48		
5年目	R 14	2%	0.8535	102.7			0.55	0.47		
6年目	R 15	2%	0.8368	102.7			0.55	0.46		
7年目	R 16	2%	0.8204	102.7			0.55	0.45		
8年目	R 17	2%	0.8043	102.7			0.55	0.45		
9年目	R 18	2%	0.7885	102.7			0.55	0.44		
10年目	R 19	2%	0.7730	102.7			0.55	0.43		
11年目	R 20	2%	0.7578	102.7			0.55	0.42		
12年目	R 21	2%	0.7429	102.7			0.55	0.41		
13年目	R 22	2%	0.7283	102.7			0.55	0.40		
14年目	R 23	2%	0.7140	102.7			0.55	0.40		
15年目	R 24	2%	0.7000	102.7			0.55	0.39		
16年目	R 25	2%	0.6863	102.7			0.55	0.38		
17年目	R 26	2%	0.6728	102.7			0.55	0.37		
18年目	R 27	2%	0.6596	102.7			0.55	0.37		
19年目	R 28	2%	0.6467	102.7			0.55	0.36		
20年目	R 29	2%	0.6340	102.7			0.55	0.35		
21年目	R 30	2%	0.6216	102.7			0.55	0.34		
22年目	R 31	2%	0.6094	102.7			0.55	0.34		
23年目	R 32	2%	0.5975	102.7			0.55	0.33		
24年目	R 33	2%	0.5858	102.7			0.55	0.32		
25年目	R 34	2%	0.5743	102.7			0.55	0.32		
26年目	R 35	2%	0.5630	102.7			0.55	0.31		
27年目	R 36	2%	0.5520	102.7			0.55	0.31		
28年目	R 37	2%	0.5412	102.7			0.55	0.30		
29年目	R 38	2%	0.5306	102.7			0.55	0.29		
30年目	R 39	2%	0.5202	102.7			0.55	0.29		
31年目	R 40	2%	0.5100	102.7			0.55	0.28		
32年目	R 41	2%	0.5000	102.7			0.55	0.28		
33年目	R 42	2%	0.4902	102.7			0.55	0.27		
34年目	R 43	2%	0.4806	102.7			0.55	0.27		
35年目	R 44	2%	0.4712	102.7			0.55	0.26		
36年目	R 45	2%	0.4620	102.7			0.55	0.26		
37年目	R 46	2%	0.4529	102.7			0.55	0.25		
38年目	R 47	2%	0.4440	102.7			0.55	0.25		
39年目	R 48	2%	0.4353	102.7			0.55	0.24		
40年目	R 49	2%	0.4268	102.7			0.55	0.24		
41年目	R 50	2%	0.4184	102.7			0.55	0.23		
42年目	R 51	2%	0.4102	102.7			0.55	0.23		
43年目	R 52	2%	0.4022	102.7			0.55	0.22		
44年目	R 53	2%	0.3943	102.7			0.55	0.22		
45年目	R 54	2%	0.3866	102.7			0.55	0.21		
46年目	R 55	2%	0.3790	102.7			0.55	0.21		
47年目	R 56	2%	0.3716	102.7			0.55	0.21		
48年目	R 57	2%	0.3643	102.7			0.55	0.20		
49年目	R 58	2%	0.3572	102.7	0.00	0.00	0.55	0.20		
合計					32.00	31.07	27.73	16.73		
単純事業費計					32.00		27.73			

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。







費用の現在価値算定表(事業全体)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道24号 寺田拡幅

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.29	2.1	0.61

年次	年度	社会的割引率	割引率	GDPデフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
					単純単価	現在価値	単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-14年目	H 25	4%	1.4951	96.4	0.48	0.76				
-13年目	H 26	4%	1.4376	98.7	0.93	1.39				
-12年目	H 27	4%	1.3823	100.2	2.12	3.00				
-11年目	H 28	4%	1.3291	100.2	11.98	16.32				
-10年目	H 29	4%	1.2780	100.5	12.51	16.34				
-9年目	H 30	4%	1.2288	100.4	10.08	12.67				
-8年目	R 1	4%	1.1815	101.2	25.28	30.31				
-7年目	R 2	4%	1.1361	101.9	27.56	31.56				
-6年目	R 3	4%	1.0924	101.8	25.25	27.82				
-5年目	R 4	4%	1.0504	102.7	11.86	12.46				
-4年目	R 5	1%	1.0100	102.7	14.36	14.51				
-3年目	R 6	1%	1.0000	102.7	5.00	5.00				
-2年目	R 7	1%	0.9901	102.7	16.36	16.20				
-1年目	R 8	1%	0.9803	102.7	15.64	15.33				
供用開始年次	R 9	1%	0.9706	102.7			0.55	0.54		
1年目	R 10	1%	0.9610	102.7			0.55	0.53		
2年目	R 11	1%	0.9515	102.7			0.55	0.53		
3年目	R 12	1%	0.9421	102.7			0.55	0.52		
4年目	R 13	1%	0.9328	102.7			0.55	0.52		
5年目	R 14	1%	0.9236	102.7			0.55	0.51		
6年目	R 15	1%	0.9145	102.7			0.55	0.51		
7年目	R 16	1%	0.9054	102.7			0.55	0.50		
8年目	R 17	1%	0.8964	102.7			0.55	0.50		
9年目	R 18	1%	0.8875	102.7			0.55	0.49		
10年目	R 19	1%	0.8787	102.7			0.55	0.49		
11年目	R 20	1%	0.8700	102.7			0.55	0.48		
12年目	R 21	1%	0.8614	102.7			0.55	0.48		
13年目	R 22	1%	0.8529	102.7			0.55	0.47		
14年目	R 23	1%	0.8445	102.7			0.55	0.47		
15年目	R 24	1%	0.8361	102.7			0.55	0.46		
16年目	R 25	1%	0.8278	102.7			0.55	0.46		
17年目	R 26	1%	0.8196	102.7			0.55	0.45		
18年目	R 27	1%	0.8115	102.7			0.55	0.45		
19年目	R 28	1%	0.8035	102.7			0.55	0.45		
20年目	R 29	1%	0.7955	102.7			0.55	0.44		
21年目	R 30	1%	0.7876	102.7			0.55	0.44		
22年目	R 31	1%	0.7798	102.7			0.55	0.43		
23年目	R 32	1%	0.7721	102.7			0.55	0.43		
24年目	R 33	1%	0.7645	102.7			0.55	0.42		
25年目	R 34	1%	0.7569	102.7			0.55	0.42		
26年目	R 35	1%	0.7494	102.7			0.55	0.42		
27年目	R 36	1%	0.7420	102.7			0.55	0.41		
28年目	R 37	1%	0.7347	102.7			0.55	0.41		
29年目	R 38	1%	0.7274	102.7			0.55	0.40		
30年目	R 39	1%	0.7202	102.7			0.55	0.40		
31年目	R 40	1%	0.7131	102.7			0.55	0.40		
32年目	R 41	1%	0.7060	102.7			0.55	0.39		
33年目	R 42	1%	0.6990	102.7			0.55	0.39		
34年目	R 43	1%	0.6921	102.7			0.55	0.38		
35年目	R 44	1%	0.6852	102.7			0.55	0.38		
36年目	R 45	1%	0.6784	102.7			0.55	0.38		
37年目	R 46	1%	0.6717	102.7			0.55	0.37		
38年目	R 47	1%	0.6650	102.7			0.55	0.37		
39年目	R 48	1%	0.6584	102.7			0.55	0.37		
40年目	R 49	1%	0.6519	102.7			0.55	0.36		
41年目	R 50	1%	0.6454	102.7			0.55	0.36		
42年目	R 51	1%	0.6390	102.7			0.55	0.35		
43年目	R 52	1%	0.6327	102.7			0.55	0.35		
44年目	R 53	1%	0.6264	102.7			0.55	0.35		
45年目	R 54	1%	0.6202	102.7			0.55	0.34		
46年目	R 55	1%	0.6141	102.7			0.55	0.34		
47年目	R 56	1%	0.6080	102.7			0.55	0.34		
48年目	R 57	1%	0.6020	102.7			0.55	0.33		
49年目	R 58	1%	0.5960	102.7	-17.90	-10.67	0.55	0.33		
合計					161.51	193.00	27.73	21.31		
単純事業費計					179.41		27.73			

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

## 費用の現在価値算定表(残事業)

箇所名:一般国道24号 寺田拡幅

維持管理費の単価単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単価(億円)
0.29	2.1	0.61

年次	年度	社会的割引率	割引率	GDPデフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
					単価単価	現在価値	単価単価	現在価値	単価単価	現在価値
-2年目	R 7	1%	0.9901	102.7	16.36	16.20				
-1年目	R 8	1%	0.9803	102.7	15.64	15.33				
供用開始年次	R 9	1%	0.9706	102.7			0.55	0.54		
1年目	R 10	1%	0.9610	102.7			0.55	0.53		
2年目	R 11	1%	0.9515	102.7			0.55	0.53		
3年目	R 12	1%	0.9421	102.7			0.55	0.52		
4年目	R 13	1%	0.9328	102.7			0.55	0.52		
5年目	R 14	1%	0.9236	102.7			0.55	0.51		
6年目	R 15	1%	0.9145	102.7			0.55	0.51		
7年目	R 16	1%	0.9054	102.7			0.55	0.50		
8年目	R 17	1%	0.8964	102.7			0.55	0.50		
9年目	R 18	1%	0.8875	102.7			0.55	0.49		
10年目	R 19	1%	0.8787	102.7			0.55	0.49		
11年目	R 20	1%	0.8700	102.7			0.55	0.48		
12年目	R 21	1%	0.8614	102.7			0.55	0.48		
13年目	R 22	1%	0.8529	102.7			0.55	0.47		
14年目	R 23	1%	0.8445	102.7			0.55	0.47		
15年目	R 24	1%	0.8361	102.7			0.55	0.46		
16年目	R 25	1%	0.8278	102.7			0.55	0.46		
17年目	R 26	1%	0.8196	102.7			0.55	0.45		
18年目	R 27	1%	0.8115	102.7			0.55	0.45		
19年目	R 28	1%	0.8035	102.7			0.55	0.45		
20年目	R 29	1%	0.7955	102.7			0.55	0.44		
21年目	R 30	1%	0.7876	102.7			0.55	0.44		
22年目	R 31	1%	0.7798	102.7			0.55	0.43		
23年目	R 32	1%	0.7721	102.7			0.55	0.43		
24年目	R 33	1%	0.7645	102.7			0.55	0.42		
25年目	R 34	1%	0.7569	102.7			0.55	0.42		
26年目	R 35	1%	0.7494	102.7			0.55	0.42		
27年目	R 36	1%	0.7420	102.7			0.55	0.41		
28年目	R 37	1%	0.7347	102.7			0.55	0.41		
29年目	R 38	1%	0.7274	102.7			0.55	0.40		
30年目	R 39	1%	0.7202	102.7			0.55	0.40		
31年目	R 40	1%	0.7131	102.7			0.55	0.40		
32年目	R 41	1%	0.7060	102.7			0.55	0.39		
33年目	R 42	1%	0.6990	102.7			0.55	0.39		
34年目	R 43	1%	0.6921	102.7			0.55	0.38		
35年目	R 44	1%	0.6852	102.7			0.55	0.38		
36年目	R 45	1%	0.6784	102.7			0.55	0.38		
37年目	R 46	1%	0.6717	102.7			0.55	0.37		
38年目	R 47	1%	0.6650	102.7			0.55	0.37		
39年目	R 48	1%	0.6584	102.7			0.55	0.37		
40年目	R 49	1%	0.6519	102.7			0.55	0.36		
41年目	R 50	1%	0.6454	102.7			0.55	0.36		
42年目	R 51	1%	0.6390	102.7			0.55	0.35		
43年目	R 52	1%	0.6327	102.7			0.55	0.35		
44年目	R 53	1%	0.6264	102.7			0.55	0.35		
45年目	R 54	1%	0.6202	102.7			0.55	0.34		
46年目	R 55	1%	0.6141	102.7			0.55	0.34		
47年目	R 56	1%	0.6080	102.7			0.55	0.34		
48年目	R 57	1%	0.6020	102.7			0.55	0.33		
49年目	R 58	1%	0.5960	102.7	0.00	0.00	0.55	0.33		
合計					32.00	31.53	27.73	21.31		
単純事業費計					32.00		27.73			

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。





路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道24号	寺田拡幅	4	2.1km

## ■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				7,530	
	改良費				3,673	
		土工	m3	62,048	400	
		軟弱地盤改良工	m3	169,185	2,194	
		法面工	m2	4,559	26	
		擁壁工	式	1	701	
		管渠工	式	1	11	
		函渠工	式	1	123	
		排水工	式	1	218	
	橋梁費				2,245	
		100m以上	式	1	1,943	
		100m未満	式	1	302	
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費			49,337	502	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	32,217	424	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>	17,120	79	
	付帯施設費				1,110	
		交通管理施設工	式	1	82	
		調整池工	式	1	1,028	
②	用地及補償費				7,710	
	用地費		m <sup>2</sup>	38,724	1,790	
		宅地	m <sup>2</sup>	4,387	291	
		田	m <sup>2</sup>	27,890	1,180	
		畑	m <sup>2</sup>	3,718	164	
		山林・原野	m <sup>2</sup>			
		その他	m <sup>2</sup>	2,729	155	
	補償費		式	1	5,920	
③	間接経費		式	1	4,259	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				19,500	

全事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道24号	寺田拡幅	4	2.1km

## ■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	2.1	850	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	2,200	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			3,050	

## 【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道24号	寺田拡幅	4	2.1km

## ■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				2,638	
	改良費				1,249	
		土工	m3	58,013	374	
		軟弱地盤改良工	m3	38,695	438	
		法面工	m2			
		擁壁工	式	1	251	
		管渠工	式	1	8	
		函渠工	式	1	8	
		排水工	式	1	170	
	橋梁費					
		100m以上	式			
		100m未満	式			
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費			33,391	344	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	22,289	293	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>	11,101	51	
	付帯施設費				1,045	
		交通管理施設工	式	1	37	
		調整池工	式	1	1,008	
②	用地及補償費					
	用地費		m <sup>2</sup>			
		宅地	m <sup>2</sup>			
		田	m <sup>2</sup>			
		畑	m <sup>2</sup>			
		山林・原野	m <sup>2</sup>			
		その他	m <sup>2</sup>			
	補償費		式			
③	間接経費		式	1	882	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				3,520	



## 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道24号	寺田拡幅	4	2.1km

## ■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	2.1	850	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	2,200	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			3,050	

## 【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。